

(1) 1995年(平成7年)9月1日(金曜日)

社説

①転県問題…対馬の福岡転県運動の歴史は古い、古来から経済圏の福岡、行政は長崎で不合理不自然を是正は当然としての転県運動も過去を省みて困難なことは歴然である。然し根気強く採り上げるので長崎の読者(対馬出身県庁マン)から「転県は今直ぐには実現しない。強調されては肩身の狭い思いがする自重を望む」との申し入れがあった。その気持ちにはわかる。然し改造内閣の一閣僚は行政改

夢を追う六題

革、地方分権の趣旨で地方庁の如きものの実現を目指す発言、遠からずそのような構図で府県統合、九州庁が実現するであろうことを期待したい。②対馬郡を…対馬郡に統一問題が再燃しないことを不

思議に思う。上県地区の反対理由は県議選挙関係が主因と選挙区は統一された、現にこの際再度採り上げて正規な手続きで与論調整、速やかに対馬郡実現を提議する。③日韓トンネル…九州本土から老岐…対馬…韓国

巨済島を結ぶ日韓海底トンネル構想、はじまつて十二年目になる。構想促進状況等は既報したが現時点は行き止まり状況、去る五月の日韓トンネル研究会九州支部理事会、総会に出席したが結局は国家

事業として実施目標で政治関係に働きかけ構想が進められつつある段階で青函トンネルや英仏海峡トンネル完成実績から技術的には可能、実施母体が未確定、遠い夢とは思いが近い将来に実現の夢を続けよう④観光について…



長崎県下県郡厳原町日吉
合資会社 対馬新聞社

郵便番号 817

電話 09205 ② 0 2 3 5

発行人 三山 忠

毎週金曜日発行

印刷 (資) 厳原印刷所

購読料 1ヵ月1,000円

(郵送料共)

振替口座 01570-4-33895

十八銀行対馬支店 ⑤ 10040

親和銀行対馬支店 ⑤ 24600